

学校教育目標 『自主 協力 継続』	 <h1 style="font-size: 4em; color: #0070C0;">絆</h1> 	学校だより No. 4 令和4年6月8日
自主 自ら学び、考え、行動する生徒 協力 協力し、励ましあう生徒 継続 ねばり強く、努力する生徒	市川市立第八中学校 校長 岡 良和	

半々くらいである。女子のリボンはあるが、つけたり付けなかったり、だらしくなったりしたため、現在は付けさせていない。暑さ対応の観点からも、ネクタイ・リボンの必要性が薄れている。◆今後、小学校も含めて、保護者、児童・生徒からアンケートをとり、方向性を決める。

令和4年度学校運営協議会委員 稲葉保(県立市川工業高等学校長) 石井裕昭(京葉ガス株式会社) 戸田悦子(民生委員) 角谷好枝(市川市統括コーディネーター) 喜々津信恵(学校支援コーディネーター) 水嶋雅(元小学校校長) 二村順子(前PTA役員) 平田朋子(前PTA役員) 大町吉彦(PTA会長) 錦織麻子(PTA副会長)
 学校代表者(校長・教頭・教務主任) **市教委**:学校地域連携推進課担当者

八中学校運営協議会報告 開催:5月16日(月)

議題1 令和4年度学校経営方針について
 ～ 新委員6名を迎え、前年度3月の本協議会で承認された経営方針を再確認しました ～
 ※経営方針は、学校だより:「絆 No.1」および学校 HP に掲載しています。

議題2 八中の制服見直しについて
 ～ 市校則・制服ガイドライン制定を機に、制服について、2回目の意見交換を行いました ～

○制服の見直しに係る:キーワード 1 **機能性** 2 **多様性** 3 **経済性**

◆世の中が画一的でなくなってきた。会社でもスーツを着なくてもよく、ネクタイをしなくてもよくなっている。制服についても様々な意見があっても当然。アンケートを実施することなので、結果を待ちたい。制服を変更する、しない、どちらにしても「絶対に全員が納得する」という結果はないだろう。◆経済性を重視したい。制服のリサイクルも考えてみてよいのではないか。制服の見直しは当事者である子供たちの意見を大切にしてほしい。◆卒業時に着なくなった制服・ジャージを寄付していただいている。急に入り用になったときなど助かっている。◆学校では、コロナや熱中症対策のためジャージ・体操服で登校してよい期間を増やしている。このことについて、先月、生徒会本部生徒と教員で話し合いを持ったところ、生徒から「行事など、日によっては、制服に統一したい」という意見が出た。例えば、「式典、定期試験、入試関連などのときは、制服の方が好ましいのではないか」ということだった。また、「地域住民の方々の見目を意識すべき」など、しっかりした考えを持っている生徒が多かった。◆制服を変えるのは賛成だが、学ラン、セーラーは着崩れが見えにくい利点がある。ブレザータイプにした場合、ネクタイがゆるんで、だらしく見えないように指導が要る。◆制服と合わせて八中カバンの見直しも必要ではないか。◆指定カバンをやめて、リュックタイプの既製品を各自で選んで購入することで進めていく。◆多様性という点から考えると、子供たちがスカートとパンツから選べるということが素晴らしいと考える。◆ブレザーでネクタイ・リボンがだらしくなってしまう、ということで、ワイシャツではなく白いポロシャツで、市販の物をどこで買ってもよいとしている中学校がある。見た目もきちんとして過ごしやすく、しかも安価にできるので検討してはどうか。◆生徒会の子供たちの制服に対する考え方がしっかりしていて素晴らしい。◆制服見直しの報道をよく目にする。時流に乗って見直すのもよい。また、購入ではなく、貸し出しという方法もあるのではないか。◆制服に関連して女子が着替える場所を設けられないか。暑い日に、スカートの下にハーフパンツを着て大変。◆暑さ対策のために、ジャージ・体操服登校の期間を設定する学校が多くなっている。八中でも気候に合わせてハーフパンツと体操服で登下校できるようにして熱中症対策としている。◆体が大きくなって買い替えること、スカートとパンツ両方を購入して着まわすことに対応できるように、できるだけ安価なものにしてほしい。◆制服、コートを掛ける場所があると良い。教室が狭いのでしかたないのかもしれないが、改善点として考えてほしい。◆ネクタイ・リボンが、だらしくなるのでは、という点は、学校と家庭で指導できる部分ではないか。指定でなく既製品で安価に揃えるのは魅力的。ネクタイ・リボンで八中とわかるようにしたい。◆量販店で既製品のジャケット・パンツなどで揃える場合、サイズが限られることや、品切れ、モデルチェンジの場合の対応が困難なことがデメリットである。◆保護者と子供たちの意見を把握するためのアンケートが必要。◆市川市でも制服の在り方を考えるプロジェクトチームを編成する。その際には、学校からの意見を寄せてほしい。◆市川工業高校では3年くらい前に制服を変えた。女子はスカートとスラックスが

※学校運営協議会は、公開義務があり、傍聴が可能です。
 傍聴希望および今後の日程等については、学校(担当:教頭)までお問い合わせください。

市川市教育委員会からお知らせ ～ マスクの着脱について ～

千葉県ガイドライン改訂を受けて、市川市「新たな学校生活スタイルガイドライン」を改訂しました。今回の改訂の中からマスクに関する内容についてまとめましたので、ご確認ください。

◆熱中症などが発生するおそれがあるので、次の場合は、積極的にマスクを外す。

- ・特に呼気が激しくなる運動
- ・気温・湿度や暑さ指数(WBGT)が高い日の屋外の活動

(マスクについての留意点)

- ・屋内(教室等)では、基本的にマスクを着用する。(2m以上の身体的距離をとることが難しいため)
- ・身体的理由等でマスクの着脱が困難な場合もあることから、マスクの着脱などによる偏見や差別が生じないように十分配慮する。
- ・マスクの取り外しについては、活動の態様や児童生徒等の様子なども踏まえ、現場で臨機応変に対応する。特に、基礎疾患を有するためマスクの着用が困難である等の場合は、主治医や学校医とも相談の上、適切に対応する。
- ・マスク着用時でも、定期的に水分補給する等、脱水や熱中症に注意する。
- ・気温、湿度や暑さ指数が高くない日に、呼吸が激しくならない軽度な運動を行う際、児童生徒がマスクの着用を希望する場合は、マスクの着用を否定するものではないが、児童生徒等の体調の変化に十分注意する。

コロナ禍の第一波以来、2年以上にわたり、国民全体でマスク着用が習慣化しました。一度身に付いた習慣を変えることで、子供によっては安心感を損なったり、気分が落ち着かなくなったりすることがあります。「マスクは、顔の一部」「マスクをとるのは、はずかしい」という声も聞かれます。暑さ本番が近づく今、次のように、周囲の状況に応じてマスクの着脱をコントロールする、新たな習慣が求められます。

人が近くにいない ⇒ マスクをはずしましょう
 屋外など換気が良好な場所

人が近くにいる ⇒ マスクを付ける
 換気が不十分な場所 大声をひかえる

☆前号でお知らせしたとおり、業務デジタル化の一環で、学校だよりをメール配信およびHPアップしてまいります。プリントが必要なご家庭用に、各学級に若干数を印刷配布しています☆